

【科目名】 3. 対象理解と植物の活用		
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 22.5	
【主任教員】 ○田崎 史江 (4)		
【分担教員】 ○劔持 卓也 (4)、萩野 あさひ (2)、毛利 ユカ (3)、横田 優子 (3)、 田中 あずさ (3)		
【授業のねらい】 みどりと健康活動、園芸療法の対象となる集団に対して、植物や園芸の活用方法を学ぶ。また、対象となる人の特性（心理・精神・身体・社会性など）を考慮して植物を利用する知識や技術を身につける。		
【日程】	【担当教員】	【授業予定】
4/25 (土) 3-5限	横田 【予習課題あり】	①みどりと健康活動、園芸療法における植物選びのポイントを学ぶ ・色彩：植物と色彩、色彩の基本的知識、配色、色のユニバーサルデザイン ・五感の快刺激と植物 ②園芸療法における創造活動の意味を学ぶ ・栽培活動との違い：一般の創造活動との違い ・認知症高齢者向けプログラム（エピソード記憶や手続き記憶の想起、認知機能低下予防など） ③みどりと健康活動プログラムについて学ぶ ・押し花の利用：作り方、保存；押し花を用いたプログラム ・体験：押し花シールおよび押し花を使ったアートフレーム （※押し花以外のプログラムについてもスライドや見本で紹介します）
6/27 (土) 3-4限	萩野	みどりと健康活動プログラムについて学ぶ ・植物を用いた創作活動の紹介（対象者に応じた作業や道具、支援の工夫ほか事例を交えて） ・植物を用いた創作活動の体験（フラワーアレンジメント、リースほか3つ程度予定）
6/27 (土) 5限	田崎、劔持	みどりと健康活動の対象を理解する（高齢者、知的・発達・精神障がい、身体障害、地域活動等）、対象に応じた植物の活用方法について（具体的事例を学ぶ）
7/25 (土) 1-3限	田中 【予習課題あり】	ハーブの利用に関する知識と技術（活用方法）を身につける ①ハーブの育て方、管理の仕方（手入れと殖やし方） ②ハーブの収穫と処理・保存法（部位別採取の仕方） ③ハーブの魅力（花色・香り・葉の色・形状）等を体感（演習を行う） ④ハーブの利用法 ⑤ハーブの組合せの注意点
8/8 (土) 3-5限	毛利	植物を活用した多様な取り組み紹介（高齢者施設・緩和ケア病棟・認知症カフェ・こども農学部などでの取り組み、セルフケアや地域ケアにつながる園芸療法について）、みどりと健康活動プログラムについて学ぶ（植物を用いた創作活動の紹介、体験）
9/26 (土) 3-5限	田崎、劔持	活動導入の流れ（アイスブレイク）、活動実施の流れを理解する、グループによるプログラム計画と実践演習
【予習課題】	横田	●4/25 (土) ①PCCS*色相環の色相の配列を覚えておく *PCCS: 日本色研配色体系 (Practical Color Co-ordinate System) ②色の3属性（色相・明度・彩度）有彩色・無彩色について理解しておく

		③可能な方は、身近な植物で押し花／押し葉を作ってお持参下さい (3～5種類程度で結構です ※任意)
【予習課題】	田中	●7/25 (土) PDF資料 (4月下旬メールによる送信にて配布予定) 「園芸療法のための利用目的からみた淡路島および淡路景観園芸学校の有用植物・ハープリスト」2015、NO.17 「実践にもとづくハーブの効果的な収穫・保存法」2016、NO.18 を読み、気付きや感想・ハーブに関する事前質問などを指定用紙に記入しメールに添付して提出する。 提出先：TA谷 件名【対象理解と植物の活用 課題】 提出期限：6月25日 (木) 23：59
【参考図書・HP】	横田	・色彩検定公式テキスト UC 級 (2022 年改訂版)、公益社団法人色彩検定協会編、2022 年 ・花色レッスン&コーディネート BOOK、中山正範・室谷優二著、主婦の友社、2006 年 ・NHK おしゃれ工房 暮らしの押し花、柳川昌子著、日本放送出版協会、2005 年 ・押し花で楽しむリサイクル雑貨、杉野宜雄・花と緑の研究所著、日本ヴォーグ社、2000 年 ・高齢者のリハビリ園芸クラフト—季節の植物でかんたん手作り作品、いばらき園芸療法研究会 登坂ユカ監修、QOL サービス、2009 年
	田中	・ハーブと精油の基本事典、林真一郎、池田書店、2010年 ・ハーブの育て方65種 採取法+使い方+保存法、高橋良孝監修、主婦の友社、1990年 ・ハーブの花図譜 (カラーチャート)、星野登志子 (絵) 桐原春子 (解説)、誠文堂新光社、1995年
	萩野	・花育のすすめ：親子ではじめるフラワーアレンジ12か月、宇野知子著、三省堂、2011年 ・四季の野草リース、辻典子著、世界文化社、2018年 ・季節を楽しむボタニカルリース 自然の恵みで暮らしを彩る、唐津攝子著、ナツメ社、2020年
	毛利	・高齢者のリハビリ園芸クラフト—季節の植物でかんたん手作り作品 いばらき園芸療法研究会 登坂ユカ監修、QOL サービス、2009 年 ・Bright with Green、菊川裕幸・剣持卓也編著、晃洋書房、2026年
	剣持	・パーソン・センタード・ケアって何？ <a href="http://www.dnet.gr.jp/pdf/download/support/research/center2/48/48_3.pdf">http://www.dnet.gr.jp/pdf/download/support/research/center2/48/48_3.pdf</a> ・厚生労働省 統合失調症 <a href="https://kokoro.ncnp.go.jp/disease.php?@uid=tQtLd1xVUp1wHJMQ">https://kokoro.ncnp.go.jp/disease.php?@uid=tQtLd1xVUp1wHJMQ</a> ・厚生労働省 うつ病 <a href="https://kokoro.ncnp.go.jp/disease.php?@uid=9D2BdBaF8nGgVLbL">https://kokoro.ncnp.go.jp/disease.php?@uid=9D2BdBaF8nGgVLbL</a>
【成績評価の方法】		レポートによる評価を行う。授業における気づきをまとめて毎回メールに添付して提出すること。レポートのテンプレートは初回授業時までにメール送信にて配布する。 送信先：TA谷 提出締切：講義翌週日曜日23：59

<p>【受講生への 連絡・希望】</p>	<p>横田</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる知識・技術の習得にとどまらず、皆さん自身が植物の美しさ・魅力を感じ、楽しむことが大切です。日頃から雑誌や植物図鑑、カタログ等をめくって、植物、配色、クラフトアイデアなどについてイメージを膨らませておいて下さい</li> <li>・盛りだくさんの内容になっています。理解を深めるため、予習課題に加え、問題意識を持ち、積極的な授業参加をお願いします</li> </ul>
--------------------------	-----------	--